



# 「食」を大切に活動について

はじめに

## 「食」を大事にする活動をする理由

### ◆世界では...

7人に1人、約9億2500万人が飢餓で苦しんでいます。

しかし、実際にはすべての人をまかなえる食糧が生産されています。その食糧を、一部の豊かな国が買い占めているのが現状です。

(農林水産省 2010年より)

### ◆日本では...

食糧自給率がカロリーベースで39%  
低い自給率を補うために半分以上を海外からの輸入にたよっています。

↓

しかし、海外からの輸入にたよっているにも関わらず、日本の年間食糧廃棄量は9100万t/年になります。

日本人一人あたりが毎日おにぎり2個捨てている量になります



しかし、今後

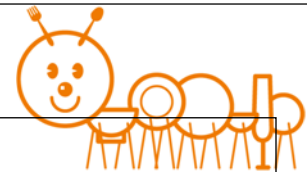
・ 2050年には90億人口突破の危機

増え続ける人口に見合う食べ物を確保するには今より1.7倍も生産量を増やす必要があります。

・ 気候変動による農作物の不作

2011年タイの大洪水のように、世界で予測を超える大災害が発生しています。

食糧が安定して供給される保障はありません。



当たり前のように消費している食糧は多くの生命の犠牲の上に成り立っています。

食に携わる職をする者として、

「食」を大切にし、また伝えていかなければなりません。

そのために「食」を大切に活動を行います。

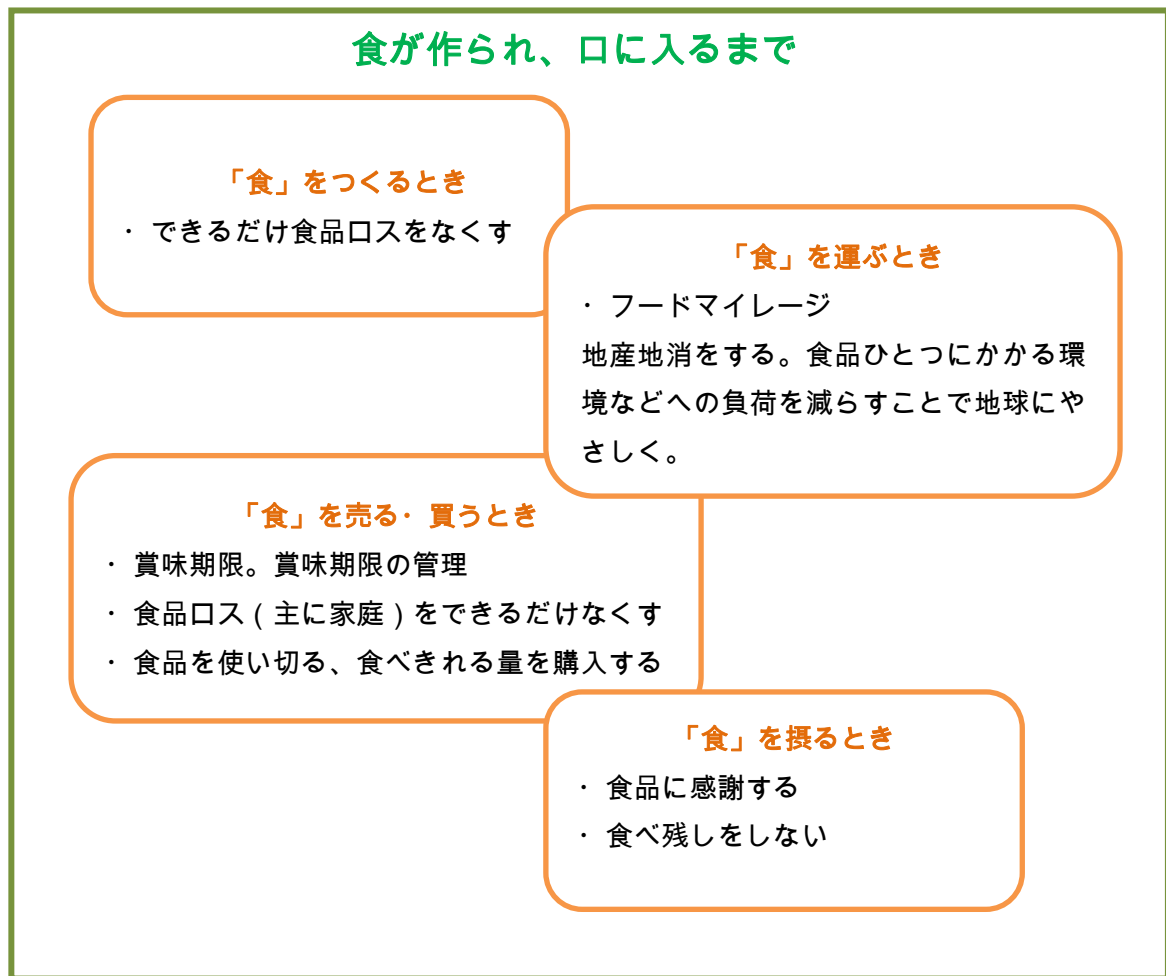
※その活動の一つに、食べ残し0の取り組みがあると考えます。

「食」を大切にすることをあたり

## フード連合としてできること

貴組織は日本最大の食品産別です。製造業・小売りなどの多くの「食」に携わる労働者と情報を共有し、共に助け合うネットワークがあります。

「食」が作られ、口に入るまで-----フード連合として以下のような取り組みが行えると考えます。



### 環境への配慮（食料ロス（食品廃棄量）の削減）

日本では、食べられるのに廃棄されている食品は500~900万t/年になります。充分食べられるものなのに、規格外のもの（形・焼き色・パッケージに難があったもの）等まだまだ食べられるものなのに、商品として世の中に出回らず、廃棄されてしまう食品が多くあります。少しでも食品廃棄量を減らすために、この活動を通じて、環境にも貢献していきます。